

## 循環器系の鍼灸治療～高血圧と冷え～

東日本支部・良導絡専門師 富田治療院 永田宏子

循環器系の疾患・愁訴の中で、臨床で遭遇することの多い「高血圧」と「冷え」を取り上げる。鍼灸治療の有効性や治効機序について、最近の知見を交えて紹介し、良導絡治療の可能性について検討したい。

### 1. 高血圧

- ◇ 我が国の高血圧患者は約 4,300 万人で、国民の 3 人に 1 人が高血圧とされる。
- ◇ 主な治療は薬物治療だが、血圧が 140/90 mmHg 未満にコントロールされているのは全高血圧患者の 3 割に満たない。
- ◇ 『コクラン・レビュー』（2018 年）では、「慢性的な血圧上昇の管理に必要な鍼治療の持続的な血圧低下効果を示す証拠はない」とされている。
- ◇ 2015 年、米国で、鍼通電による長期の降圧作用と、要因として交感神経系とレニン-アルドステロン系が関係している可能性があることが報告された。
- ◇ 高血圧に対する良導絡治療例

### 2. 冷え

- ◇ 冷えの定義は「症状としての冷感、通常冷たいと感じない温度で手足が普通の人より冷たくなること」で、西洋医学で冷えは病態として捉えられていない。
- ◇ 肩こり、疲労、腰痛、頭痛、消化不良、月経痛などの随伴症状を伴いやすい。
- ◇ 鍼灸治療が有効であるとする臨床研究はあるが、有効性についての確証はない。
- ◇ 「当帰芍薬散」「当帰四逆加呉茱萸生姜湯」などの漢方薬が有効とされている。
- ◇ 冷えに対する良導絡治療例

永田宏子

富田治療院院長

鍼灸、あん摩マッサージ指圧師

日本良導絡自律神経学会理事 良導絡専門師

#### 【略歴】

大学卒業後、26 年間の社会人生活を経て、呉竹鍼灸柔整専門学校、東京医療専門学校教員養成科を卒業。2013 年、静岡県伊豆の国市に富田治療院を開院。鍼灸臨床に携わる傍ら、専門学校の非常勤講師を務める。現在、明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科博士後期課程在学中。